



2019年11月1日

各 位

三重県保険医協会

運動の取り組みについて

9月12日、保団連中央要請行動、また衆議院第2議員会館で「10月消費税10%ストップ!9・12国会内集会」(「10月消費税10%ストップ!ネットワーク」主催)が開催された。三重協会から鶴飼・梅村各副会長が参加した。

本田宏氏(NPO法人医療制度研究会副理事長・医師)の挨拶で始まった集会、初めに国会議員の先生方(立憲民主党、国民民主党、日本共産党、他にも、れいわ新選組の山本太郎氏によるビデオメッセージ)の激励があった。引き続き、約100万筆(当日だけで43万筆)を超える署名を各団体の代表から国会議員の先生方に願いを託し手渡した。醍醐聰氏(東京大学名誉教授)、湖東京至氏(税理士・元静岡大学教授)、斎藤貴男氏(ジャーナリスト)をはじめ、各団体より増税中止を求める意見が飛び交った。私もフロア発言の機会を得たため、医療機関の控除対象外消費税(いわゆる「損税」)について発言した。特に影響の多い、歯科医院では8%の消費税でも負担となる金額は1年間で約70万円と多く、増税は断じて許すことはできない。住江憲勇氏(全国保険医団体連合会会長・医師)の集会アピールで参加者全員が増税反対に向けて、一致団結し、集会は終了した。熱気が冷めることなく、日比谷公園に集合し、銀座までのパレードに参加した。集合地点では「歯医者さん、歯医者さん」と何人かの方から呼び止められた。前衆議院議員梅村さえこ氏(共産党・比例北関東ブロック)には「先生の話は、初めて聞いたことが多く勉強になりました。特に消費税に関するお酒の話は大変おもしろかったです。同姓でもあり、一緒に頑張りましょう!」と声をかけられ、お互いにエールの交換をした。残暑の中、帰りのハッピーアワーのハイボールはピッチも進み、最後は緑茶割りで締めくくって、帰路に就いた。

(三重県保険医協会副会長・梅村忠司)

以 上